

JR 三原駅前噴水広場で「エキマエ神明市」開催

毎年多くの来場者で賑わう三原神明市は、コロナウイルスの影響で3年連続となる中止が決まり、市民から多くの落胆の声が上がっていました。

こういう時だからこそ街を元気にしたいとの思いで、この度、(一社)三原観光協会を中心に、観光・まちづくり関連団体が協力し、祭りの規模を縮小した形で、下記のとおり、JR 三原駅前広場を会場に「エキマエ神明市」を開催することといたしました。

イベントでは神明市で人気の高い、蒸したて酒饅頭や酔心の限定酒、だるまの販売などを行う予定です。また、例年会場を盛り上げる、小学生による「だるま行列」も行います。

中止となった神明市に関連するイベントを駅前広場で実施することにより、神明市の次年度以降につながる取り組みとするとともに、駅前広場の賑わいづくりにも寄与することを目指します。

また、「神明市の灯を来年に繋げる」という思いを込め、会場に LED 照明で照らされた「バルーン大だるま」のオブジェを設置します。

報道各社の皆様にはぜひ、このイベントの開催を広く周知していただくと共に、当日の様子を取材していただくことで、来年の神明市へ向け、三原の伝統をつなぐ取り組みとして発信していただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

エキマエ神明市

主催：(一社)三原観光協会・市民団体ミハラスパイス

協力：三原神明市協賛会/三原市/JR西日本三原駅/三原だるま育成保存会/広島県信用組合三原支店/
(株)まちづくり三原/(株)空・道・港/(株)FMみはら/(株)三原テレビ放送

日時：令和5年2月11日(土)・12日(日) 10時～16時

会場：JR 三原駅前噴水広場

内容：○グルメ・物販ブースの出店(蒸したて酒饅頭、酔心の限定酒、だるまなど)

○三原だるま面相描き体験コーナー

○だるま供養所の設置 ○バルーン大だるまの設置

○三原だるま行列

日時：2月12日(日)10:30～11:30

コース：JR 三原駅構内・駅前噴水広場

参加：三原小学校3年生有志約70人、保護者

(児童がだるまの張り子をかぶって会場を練り歩きます)

※コロナ対策として会場には飲食コーナーは設けず、テイクアウト商品
のみの提供といたします。



三原だるま行列の様子

バルーン大だるま 点灯式

日時:2月10日(金)18:00~

会場:JR三原駅前噴水広場

出席者:岡田吉弘三原市長・三原神明市協賛会 木村尚登会長・(一社)三原観光協会 鶴田幸彦会長 ほか

バルーン大だるまのイメージ



正面

背面

【高さ 3.5m(土台込み)×幅 2m】

毎年神明市の開催を告げるシンボルとして設置されていた「神明大とんど」に代わるシンボルとして、三原神明市協賛会が制作、市民団体ミハラスパイスがデザイン。

三原だるまをモチーフに、神明市ならではの「植木」「ベビークステラ」「リンゴ飴」などが描かれています。「三原の福が膨らむように」のメッセージを込めてデザインしたオブジェです。

バルーンの中にLED照明を入れ、夜間は美しい光りで彩ります。

●三原神明市とは

備後地域の春祭りの先駆けとして、毎年30万人以上が訪れる西日本有数の縁日。会場となる JR 三原駅の北側一帯には、植木市やダルマ市など 500 を超える露店や催し物が軒を連ねます。シンボルである「神明大ダルマ」は高さ 3.9m、直径 2.9m、重さ約 500 kg。祭りの起源は室町時代末期にまでさかのぼるとされ、三原城を築城した戦国武将・小早川隆景も大切にしていたといわれています。

今年は2月10日(金)~12日(日)に開催予定でしたが、残念ながら中止となりました。



←三原神明市の公式ホームページ
<http://mhr-cci.or.jp/shinmei/>

お問い合わせ先

○エキマエ神明市に関すること

(一社)三原観光協会 平井 寿

TEL 0848-67-5877

○バルーン大だるまに関すること

市民団体ミハラスパイス 事務局 上吉宏美

TEL 090-7134-1167